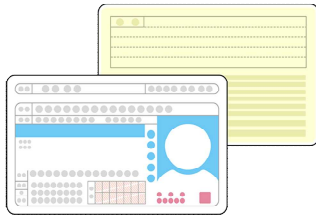


罹災証明申請時に必要となるものについて

①申請者の本人確認書類

例:運転免許所、マイナンバーカードの写しなど



※申請者の氏名、住所が分かるもの。

※マイナンバーカードの場合、専用ケースに入れたまま、
顔写真がある面だけを写してください。
(裏面は絶対に添付しないでください。)

②「被災した住家の4方からの全体写真」、「被災した住家の該当箇所」 の写真及び「該当箇所を記した平面図(手書きでもよい)」

平面図(例):大まかな位置が分かれば大丈夫です。



・写真の取り方は以下を参考に、被災部分が分かるよう撮影してください。

参考

家の被害状況を写真で記録しましょう

※片付けや修理の前に、家の被害状況を写真に撮って保存しておきましょう。
市町村から罹災証明書を取得して支援を受ける際や、保険会社に損害保険
を請求する際などに、たいへん役に立ちます。
ポイントは、家の外と中の写真を撮ることです。

家の外の写真の撮り方

- カメラ・スマホなどでなるべく4方向から撮るようにしましょう。
- 浸水した場合は、浸水の深さがわかるように撮りましょう。
※メジャーなどをあてて「引き」と「寄り」の
写真を撮ると、被害の大きさが良くわかります。

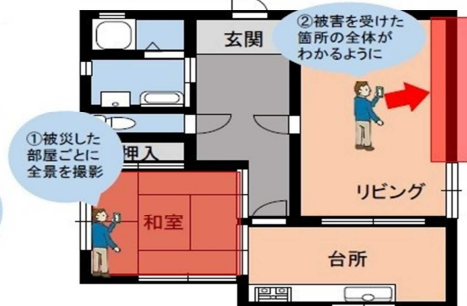
家の中の写真の撮り方

- 家の中の被害状況写真は、
①被災した部屋ごとの全景写真
②被害箇所の「寄り」の写真を
撮影しましょう。
- <想定される撮影箇所>
内壁、床、窓、出入口、サッシ、襖、
障子、システムキッチン、洗面台、
便器、ユニットバス など

<イメージ図>



★被害を受けた部屋・箇所は全て撮影しましょう。



※修理が完了している箇所があり、修理前の写真がない場合は、「被害の状況」欄に該当する
箇所について「修理済み」と記載のうえ、修理後の写真を添付してください。

罹災証明の電子申請はこちらから→

